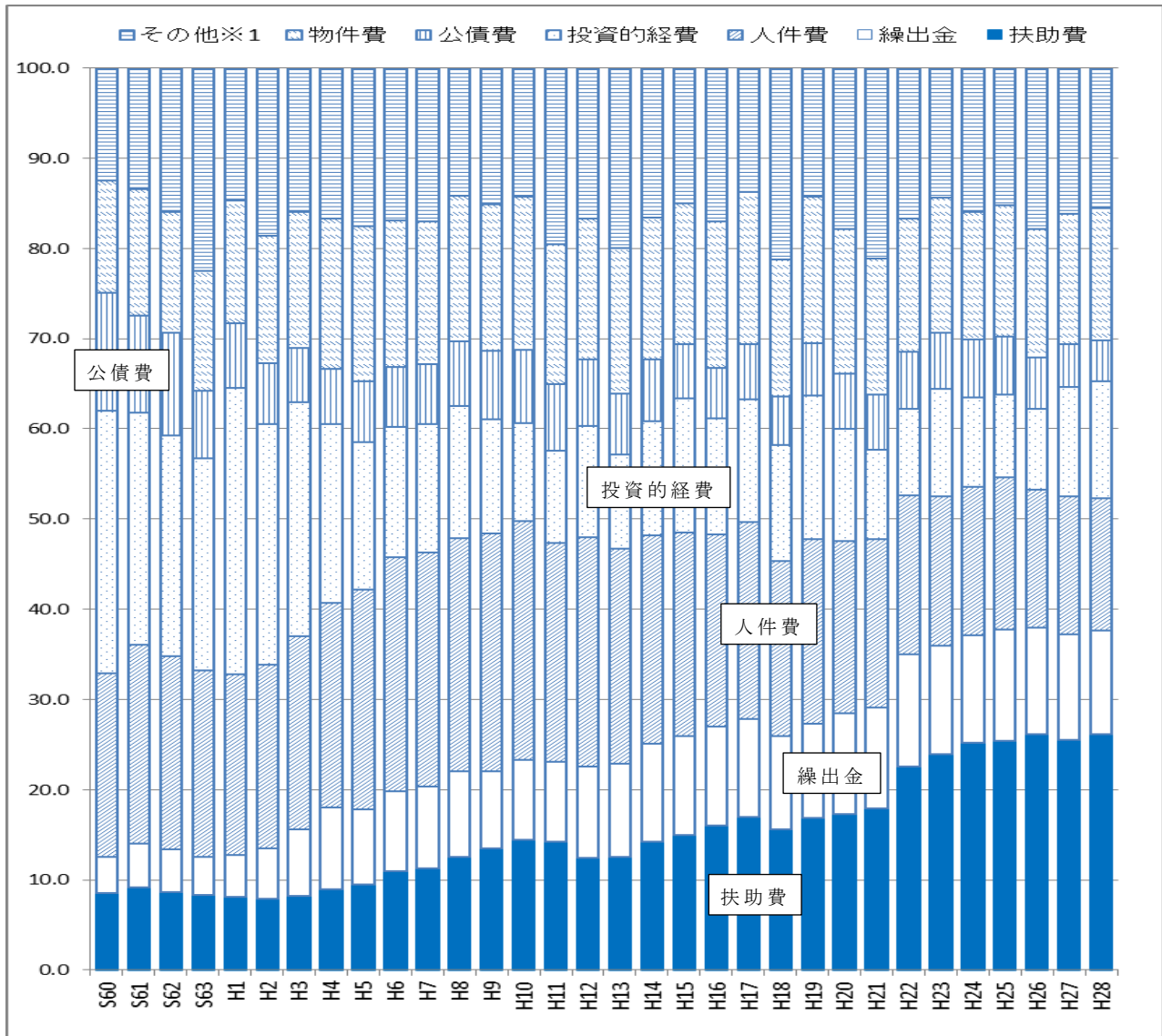


4 歳出 (2) 性質別の推移

【グラフ】歳出（性質別）構成比率の推移

(単位：%)



※1 その他 補助費等、維持補修費、投資・出資・貸付金、積立金

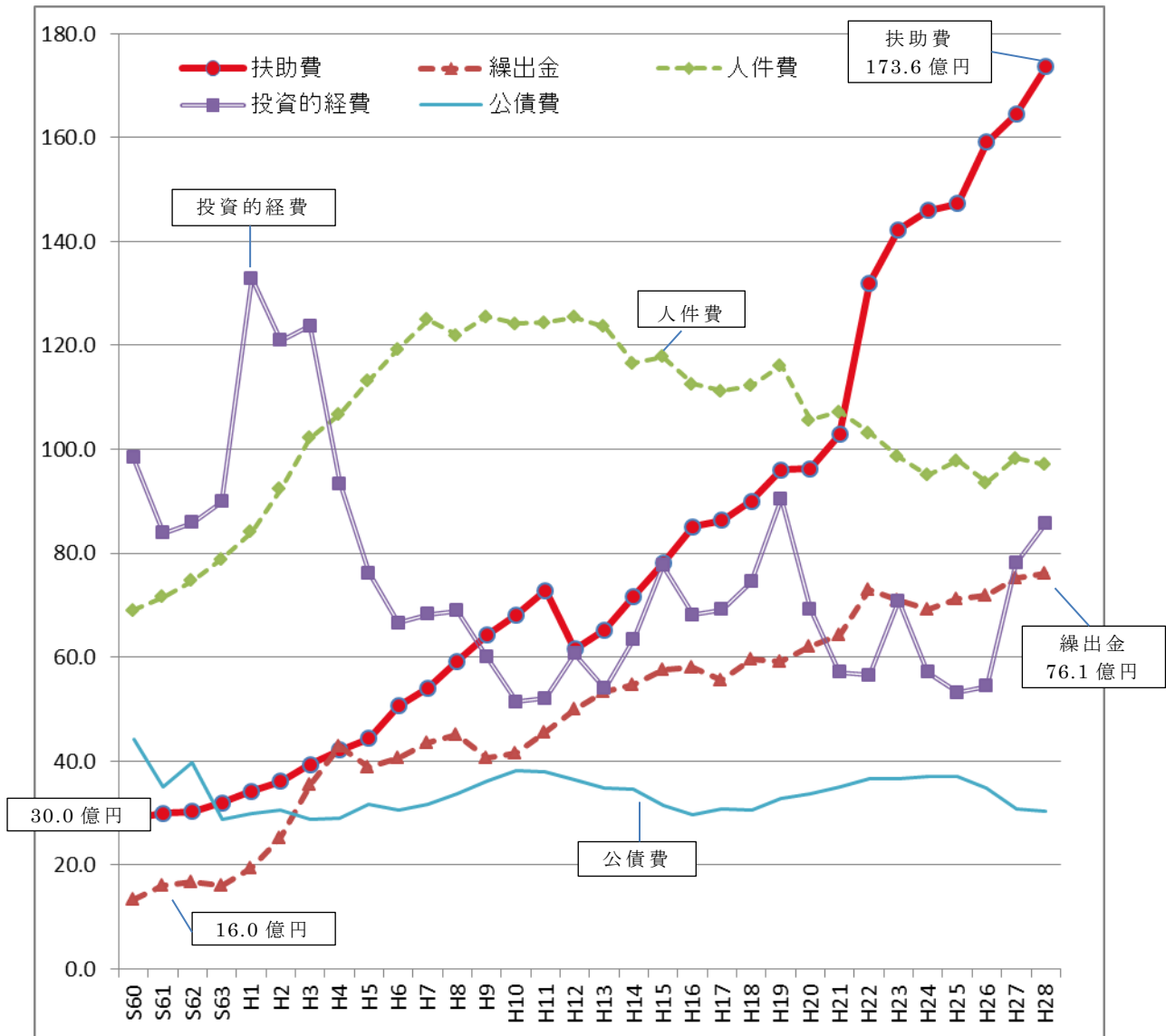
○ この30年間の主な歳出性質別構成比率の推移は、高齢化の進展等によって補助費や繰出金が増加しているのに対して、人件費や投資的経費などは抑制されています。市税収入は伸び悩み、「まち」の高齢化も進んでいます。この他にも複雑化・多様化する地域課題に対応するためには、歳入歳出ともに様々な見直しと工夫を行う必要があります。

性質別	昭和61年度 歳出構成比率	平成28年度 歳出構成比率	増減
補助費	9.2%	26.2%	↑17.0ポイント
繰出金	4.9%	11.5%	↑6.6ポイント
公債費	10.8%	4.6%	↓6.2ポイント
人件費	22.0%	14.7%	↓7.3ポイント
投資的経費	25.7%	13.0%	↓12.7ポイント

4 歳出 (2) 性質別の推移

【グラフ】 おもな性質別経費（金額）の推移

(単位：億円)



- この30年間の推移では、扶助費と民生費の特別会計（国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療）への繰出金は、高齢化の進展などから継続的な増加傾向にあります。
- 人件費や投資的経費などは、増減があるものの抑制されています。

○この30年間の推移では、

歳出全体	約2.0倍	(326.0億円⇒662.8億円)
扶助費	約5.8倍	(30.0億円⇒173.6億円)
繰出金	約4.8倍	(16.0億円⇒76.1億円)
人件費	約1.4倍	(71.6億円⇒97.1億円)
公債費	約0.9倍	(35.1億円⇒30.3億円)
投資的経費	約1.0倍	(83.9億円⇒85.8億円)